HDビデオディスクレコーダー

VDRH-8000

取扱説明書　（2012 年 9 月）Ver.1.12

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告！

本製品を、安全にご使用いただく為に、本文中の注意事項をお守りください。
場合によっては、火災・人身事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書には、事前に重大な事故を防ぐ為の注意事項、本製品の取り扱い
方法に関して記載されております。
使用されるにあたり、ご一読戴き安心してお使いいただきますようお願いいたします。

また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいてください。

株式会社　オンテック

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読み下さい。
また、お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

⚠警告！	この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠注意！	この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠警告！

■ 発煙、異常過熱、異臭、異音が発生した場合、すぐに使用を中断いただき、電源プラグをお抜きください。
火災、感電につながる恐れがあります。

■ 内部に水が入った時や、外装ケースが破損した場合は、すぐに使用を中断していただき、電源プラグをお抜きください。
火災、感電につながる恐れがあります。

■ 水をかけたりぬらしたりしないでください。
内部に水が入ると火災、感電、故障につながります。
水が入ったときは近くのサービス会社にご相談ください。

■ 分解や改造をしないでください。
火災、感電、故障につながります。

⚠注意！

■ 高温になる所に放置しないでください。
特に真夏の車内、車のトランク内は、想像以上に高温となります。本機を放置しないでください。故障の原因となります。
そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。

■ 結露に注意
寒い所から急に暖かい所へ移動したとき、冷房の効いた部屋や車内から急に温度の高い所や湿度の高い所へ移動したときなどに結露が起こります。
そのまま使用しますと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災、感電等の恐れがあります。

■ 設置時や移動時に指をはさまないようご注意ください。

使用上のご注意

■ 低温時の暖気運転について

ハードディスクドライブを保護するため、低温時には、電源オン直後の記録操作は避けるようにお願いします。目安として、外気温１０℃の場合、２０分程度の暖機運転（ウォームアップ）をお願いします。

■ お手入れについて

フロントフィルターの定期的な清掃をお願いします。ハードディスクドライブや内部基盤に著しくほこりなどが

【免責事項に関して】

■記録した映像の著作権に関しては、著作権法に基づいた管理をお願いいたします。
弊社はお客様が記録・再生された映像に対する、如何なる著作権上の責に関しても責を負いかねます。

■火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。

■本製品の使用又は使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化、消失、録画、録音などの機会を逃した為に生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して，当社は一切責任を負いかねます。

■接続機器（カメラやパソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いかねます。

～目次～

1. はじめに 5
2. 各部の名称と働き 6
１） フロントパネル 6
（1）INHIBIT ボタン 6
（2）操作ボタン 6
（3）外部メディア操作部 9
（4）ＬＣＤ 10
（5）PHONE ジャック(※搭載予定) 10
（6）吸気口 10
２） リヤパネル 11
（1）AC IN 11
（2）POWER スイッチ 11
（3）HD－SDI 系端子 11
（4）同期系端子 11
（5）タイムコード系端子(LTC) 12
（6）422 端子 12
（7）イーサネット 12
（8）オーディオオプション接続コネクタ 12
（9）ＤＩ/ＤＯ端子(※別売オプション) 12
（１０）ＰＣ系端子 12
（１１）排気口 12
3. ハードディスクの定期交換について 13
4. シーンについて / コンプレスについて 14
１） シーンについて 14
２） コンプレスについて 14
5. その他の操作 15
6. オーディオユニットオプション(別売) 15
１） パネル 15
２） 接続 16
7. 定格 17

1.　はじめに

この度は弊社製品、VDRH-8000 シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。
このマニュアルに記載されている事項を良くお読みになり、VDRH-8000 シリーズを永くご愛顧下さい。
またこの冊子は、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管頂けますようにお願いします。

■　特徴

□フルスペックＨＤＴＶ対応

ＶＩＤＥＯ　：　1920×1080/59.94i　、1920×1080/50i　、1920×1080/23.98psf　、1920×1080/24psf　、1920×1080/29.97psf　、1920×1080/25psf　、1280×720/59.94i　、1280×720/50p、
(23.98psf、24psf は、SDI Input Lock のみに対応)

ＡＵＤＩＯ　：　８ｃｈ

ＨＤ放送規格に対応した映像・音声の記録と再生が可能です。

□高画質／高音質　記録

JPEG2000 による高画質記録を実現。フレームごとに独立したデータで記録。オーディオは基本構成で SDI エンベッデッド８チャネルに対応します。

オーディオユニット（オプション）を追加するとデジタル AES/EBU やアナログバランスコネクタを直接接続することが可能です。48ｋＨｚ　24 ビットサンプリングに対応しています。

VDRH－8000 は約 12 時間のＨＤ-ＳＤＩ素材の録画が本装置１台で可能です。

□低消費電力・小型軽量

VDRH－8000：　90W

２Ｕラックタイプ（Ｗ４３０×Ｄ４２５×Ｈ８８［mm］）

□ネットワーク機能・監視機能

Ethernet に接続することにより、別の場所にあるコンピュータから制御や監視をすることが可能です。

通常のパネルで行う操作もネットワークから行うことができる為、遠隔地からの録画を開始・停止やメンテナンス情報の入手なども行うことが出来ます。

□操作 PC 内蔵・イベントプレイヤーソフト標準搭載

エンベデッド PC を２U 本体に内蔵。(VGA モニター・入力機器は外部接続が必要です。)

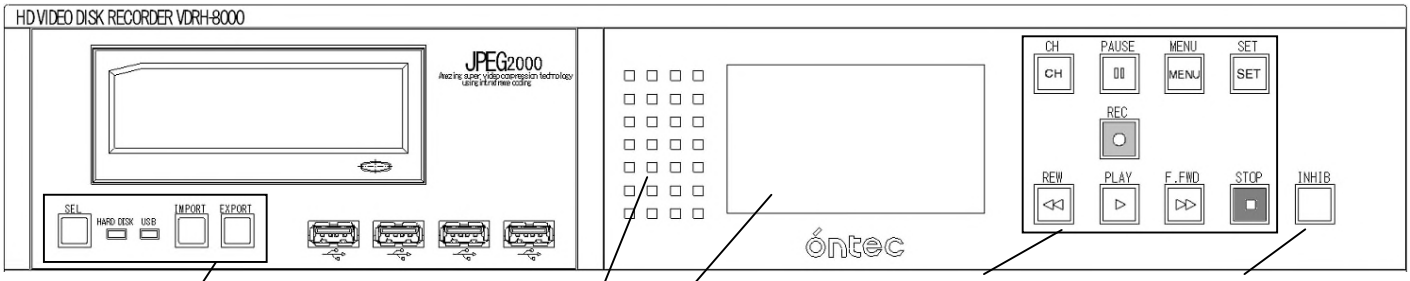
PC には、標準で新仕様のイベントプレイヤーソフトを搭載。他の VDRH シリーズと比べ、外部操作機器の接続が簡素化されることにより、あらゆる現場での使用に利便性を発揮します。

⚠注意！

ネットワーク利用した制御や監視機能のために接続される Ethernet には本装置もしくはシステムと関係の無い機器、ネットワーク機器およびインターネット等の環境を接続しないようにお願いします。Ethernet への接続は、誤動作を回避するためにも、本装置とコントローラ（パソコン等）間は、1 対１で接続することを推奨いたします。

2.　各部の名称と働き

１ ）フロントパネル

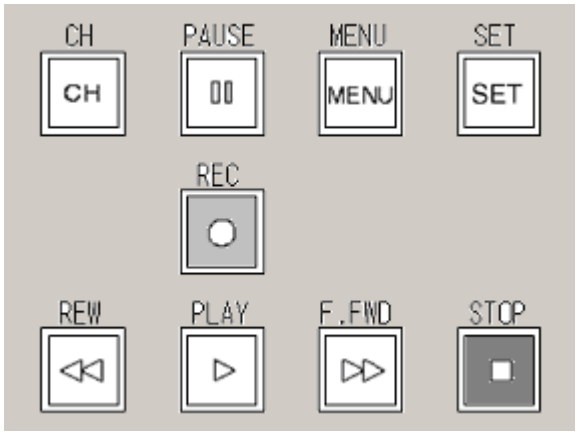


(3) 外部メディア操作部　(6) 吸気口　(4) ＬＣＤ　(5) PHONE ジャック　(2) 操作ボタン　(1) INHIBIT ボタン

(１)INHIBIT ボタン

このボタンが点灯しているとき、パネルの操作（INHIBIT 以外）が利かなくなります。INHIBIT が ON の状態です。INHIBIT にする時は、このボタンを単体で押してください。解除する時は INHIBIT ボタンを押しながら CH ボタンを押してください。

(２)操作ボタン



※左上から順に

□ＣＨＡＮＮＥＬ

(1)**通常押下：操作 CH の切り替え**

押すごとに、A-Ch/B-Ch を切り替えます。

起動直後は消灯状態で、この時の操作対象は A-Ch です。

操作対象が B-Ch の時は、このボタンが点灯します。

(2)**＋INHIBIT：INHIBIT 解除(キーINHIBIT 時)**

INHIBIT ボタンを押しながら CH ボタンを押すと、INHIBIT が解除されます。

□ＰＡＵＳＥ（操作バリエーション：　通常押下　/　＋F.FWD/REW）

(1)通常押下：一時停止（A-Ch 収録/再生時、B-Ch 再生時）

A-Ch が収録中もしくは再生中、また、B-Ch が再生中にこのボタンを押すと、その動作が一時停止します。その状態から、PLAY ボタンか REC ボタンを押すと、再度その動作に戻ります。

なお、停止状態で、PAUSE を押しながら PLAY ボタンまたは REC ボタンを押すと、その動作の頭で待機状態になります。

(2)＋F.FWD/REW：フレーム送り/戻し(一時停止時)

STILL 中に、PAUSE ボタンを押しながら、F.FWD/REW を押すと、１フレームずつ映像をコマ送り・戻しします。

(3)＋PLAY：TM1 のリセット(TM1 表示時、一時停止時)

STILL 中に、REC ボタンで TM1 表示に切り替え、PAUSE ボタンを押しながら PLAY ボタンを押すと、TM1(CTL)を 00:00:00:00 に戻します。

□ＭＥＮＵ

(1)通常押下：ＭＥＮＵに入る（MENU 非表示時）・ＭＥＮＵの階層を上に戻る、ＭＥＮＵを抜ける（MENU 表示時）
エラーメッセージのクリア（エラー発生時）

フロント LCD に MENU が表示されていない時、このボタンを押すと、MENU に入れます。

MENU に入っているとき、MENU の階層を一つ上の階層に戻ります。一番上の階層で押すと、MENU を抜けることができます。

フロント LCD にエラーメッセージが表示されている時は、このボタンで表示をクリアできます。(ボタン点滅、INHIBIT 状態でもクリアできます。)

□ＳＥＴ（操作バリエーション：　通常押下　/　＋PLAY）

(1)通常押下：音声メーターの表示/非表示（MENU 非表示時）・MENU の選択/決定（MENU 表示時）

フロント LCD に MENU が表示されていない時、このボタンを押すと、LCD に音声メーターが表示されます。STOP 時か収録時は、入力音声のレベルが表示されます。再生時は、再生音声のレベルが表示されます。

MENU に入っている場合、プロンプトで選択されている項目を選択/決定します。

(2)＋PLAY：JP2K コーデックの強制リブート(ノーマル再生時)

再生映像に問題がある場合、JP2K コーデックを強制的にリブートかけることで、改善する場合があります。この操作は、ノーマルスピード再生のときにのみ行えます。

SET ボタンと PLAY ボタンを同時に押して下さい。(片方を先に押すと、それに準じた動作をします。)

なお、強制リブートを行なうと再生映像が１～２秒乱れます。

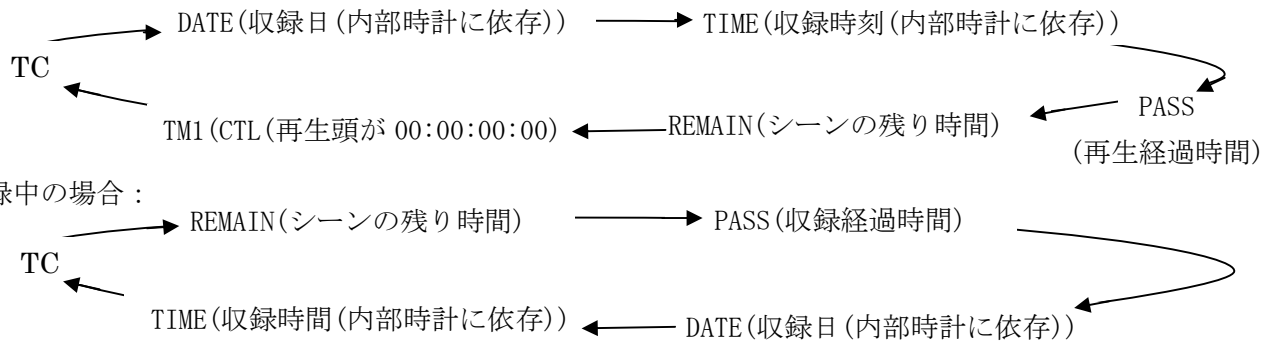
□ＲＥＣ（操作バリエーション：　通常押下　/　＋PLAY/PAUSE　/　長押し　）

(1)通常押下：LCD(一部 HD-OSD)の表示切替え・数値を増やす(一部メニューにて)

再生時もしくは収録時にこのボタンを押すと、LCD に再生(収録)中のシーン情報が表示されます。

情報は、TC が表示されている部分に、

再生中の場合：



収録中の場合：

のサイクルで順に表示が切り替わります。

数値の増減の出来るメニューでは、数値を１つ増やします。

(2)**+PLAY/PAUSE：収録の開始/収録スタンバイ(A-ch のみ)**

＋PLAY で、収録を開始します。

＋PAUSE で、収録スタンバイに入り、もう一度 REC ボタンを押すと収録を開始します。

□ＲＥＷ（操作バリエーション：　通常押下　/　＋PLAY　/ ＋PAUSE　）

(1)**通常押下：REW(再生時)・Variable 再生(一時停止時)・シーン戻し(停止時)・項目の戻し(MENU 操作時)**

再生時は、押す度に REW の速度が上がっていきます。(-1 倍速～-256 倍速(16 段階))

STILL 時は、押す度に逆方向の Variable 再生速度が上がっていきます。(-2%～-200%(20 段階))

なお、F.FWD ボタンを押すと逆方向には推移します。

停止時は、再生するシーンを選択するために使用し、シーン No.を順戻しします。

メニュー設定中は、カーソルの戻し(上もしくは左移動)に使用します。

(2)**＋PLAY：Variable 再生(ノーマル再生時)**

x1 倍速中に PLAY ボタンを押しながら REW ボタンを押すと、+98%の Variable 再生に入ります。

その後、PLAY を押さずに REW や F.FWD を押すことで、Variable の速度を変化させることが出来ます。

(3)**＋PAUSE：フレーム戻し(一時停止時)**

STILL 中に、PAUSE ボタンを押しながら、このボタンを押すと、１フレームずつ映像をコマ戻しします。

□ＰＬＡＹ（操作バリエーション：　通常押下　/　+SET　）

(1)**通常押下：再生(停止時・STILL 時)**

再生が始まります。

(2)**+SET：JP2K コーデックの強制リブート(ノーマル再生時)**

再生映像に問題がある場合、JP2K コーデックを強制的にリブートかけることで、改善する場合があります。この操作は、ノーマルスピード再生のときにのみ行えます。

SET ボタンと PLAY ボタンを同時に押して下さい。(片方を先に押すと、それに準じた動作をします。)

なお、強制リブートを行なうと再生映像が１～２秒乱れます。

□Ｆ．ＦＷＤ（操作バリエーション：　通常押下　/　＋PLAY　/　＋PAUSE　）

(1)**通常押下：FF(再生時)・Variable 再生(一時停止時)・シーン送り(停止時)・項目の送り(MENU 操作時)**

再生時は、押す度に REW の速度が上がっていきます。(+1 倍速～+256 倍速(16 段階))

STILL 時は、押す度に逆方向の Variable 再生速度が上がっていきます。(+2%～+200%(20 段階))

なお、REW ボタンを押すと、逆方向には推移します。

停止時は、再生するシーンを選択するために使用し、シーン No.を順戻しします。

メニュー設定中は、カーソルの戻し(上もしくは左移動)に使用します。

(2)**＋PLAY：Variable 再生(ノーマル再生時)**

x1 倍速中に PLAY ボタンを押しながら F.FWD ボタンを押すと、+102%の Variable 再生に入ります。

その後、PLAY を押さずに REW や F.FWD を押すことで、Variable の速度を変化させることが出来ます。

(3)**＋PAUSE：フレーム戻し(一時停止時)**

STILL 中に、PAUSE ボタンを押しながらこのボタンを押すと、１フレームずつ映像をコマ送りします。

□ＳＴＯＰ（操作バリエーション：　通常押下　/　長押し　）

(1)**通常押下：停止(停止時以外)**

全ての動作から停止状態に落とします。

(2)**長押し：ディスクの残量表示(停止時)**

LCD の TC 表示部分に、収録可能時間残量を表示します。

(３)外部メディア操作部

□ＳＥＬ

(1)**通常押下：IMPORT/EXPORT 操作対象の切換え**

押すごとに IMPORT/EXPORT 操作の対象を、USB⇔HARD DISK(RDX 規格)で切り替えます。

どちらのメディアが選択されているかは、ボタン左側の LED で確認出来ます。

□ＩＭＰＯＲＴ

(1)**通常押下：記録映像のＩＭＰＯＲＴ**

IMPORT 対象のメディアを選択した後、このボタンを押すと映像の IMPORT が始まります。

IMPORT は、外部メディア内の全シーンを、本体にあるシーンに後付けして移動します。

□ＥＸＰＯＲＴ※

(1)**通常押下：記録映像のＥＸＰＯＲＴ**

EXPORT 対象のメディアを選択した後、このボタンを押すと映像の EXPORT が始まります。

EXPORT は、本体で選択されている１シーンのみ、書き出し可能です。
連続して EXPORT を行うと、以前に EXPORT したデータは、外部メディアから削除されます。

□EJECT ボタン

(1)**通常押下：RDX 規格メディアの取り出し**

RDX 規格のメディアが挿入されている時、このボタンを押すとメディアが取り出されます。
※注）IMPORT/EXPORT 動作中もこのボタンを押すと、作業が中断され、メディアが排出されます。
動作中は、お手を触れないようにご注意ください。

（４）ＬＣＤ

選択されているチャンネルの情報や状態、一部メニューの設定状態などを表示します。
停止中で、「USER MENU→SYSTEM→MONITOR OUTPUT」の設定が EE の時、入力映像を表示します。
再生中は、再生映像を表示します。

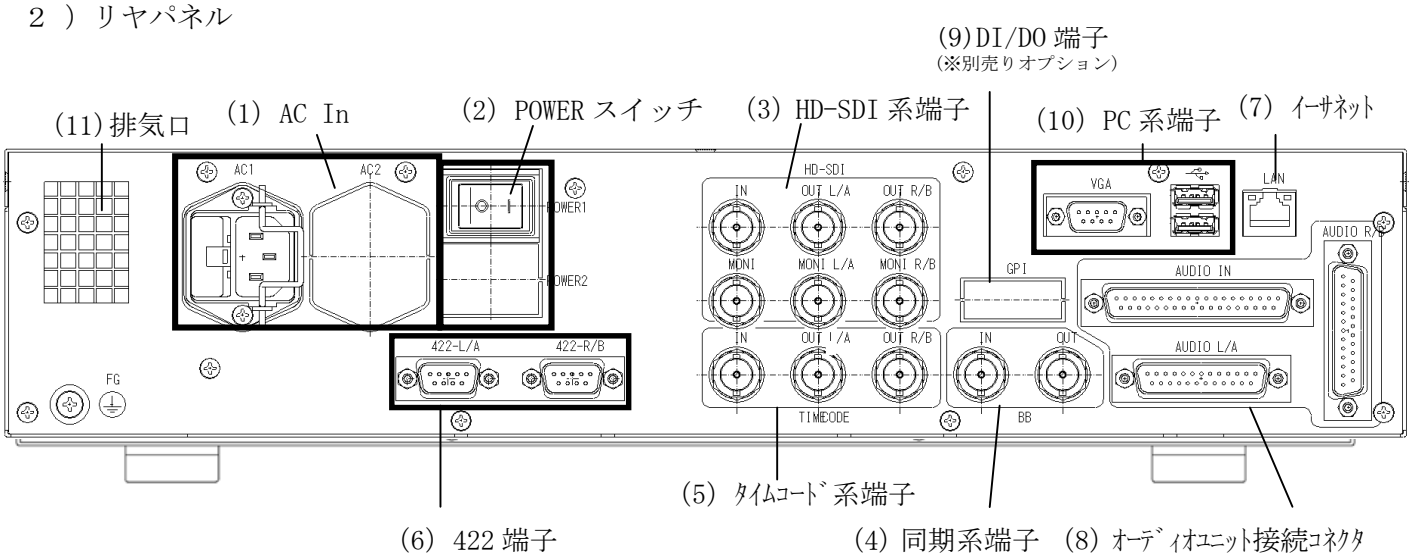
（５）PHONE ジャック（※搭載予定）

STEREO MINI ジャックのヘッドホン端子です。停止時は、入力音声が出力されます。
初期状態では、1/2ch の音声が出力されており、「USER MENU→AUDIO→HEADPHONE CH」メニューで出力チャンネルを変更できます。

（６）吸気口

冷却用の吸気口です。塞がないようにしてください。

２ ） リヤパネル



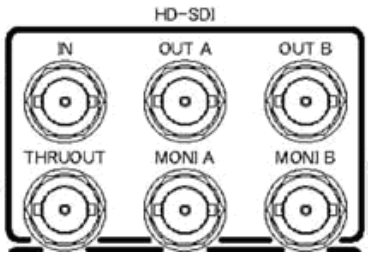
（１）AC IN

付属の電源コードを使ってコンセントにつなぎます。

（２）POWER スイッチ

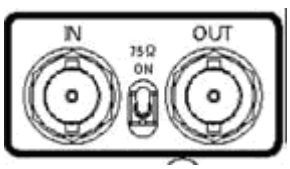
Ｉ側に倒すと電源が入り、Ｏ側に倒すと電源が切れます。

（３）HD－SDI 系端子



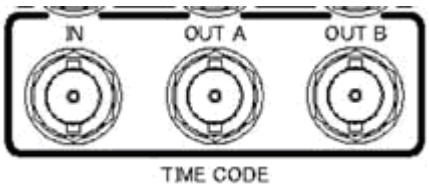
IN	HD-SDI 映像入力端子です。(A-Ch 側での操作です。)
THRUOUT(ｽﾙｰｱｳﾄ)	HD-SDI 映像入力のアクティブスルーアウト端子です。
Out A	A-Ch の HD-SDI 映像出力(プログラムアウト)端子です。
MONI A	A-Ch の HD-SDI 映像出力(スーパーアウト)端子です。 メニューで、スーパーの内容を変更できます。
Out B	B-Ch の HD-SDI 映像出力(プログラムアウト)端子です。
MONI B	B-Ch の HD-SDI 映像出力(スーパーアウト)端子です。 メニューで、スーパーの内容を変更できます。

（４）同期系端子



BB In 端子	リファレンス信号として、SD ブラックバースト信号を入力します。
BB Out 端子	BB In 端子のループスルーアウト端子です。
75Ω終端	スルーアウトから後段の機器に接続のない場合、ON にして下さい。

（５）タイムコード系端子(LTC)



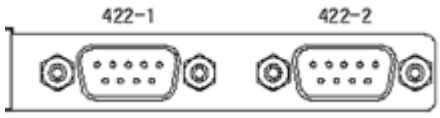
TIME CODE In　　外部タイムコードを入力します。

TIME CODE Out A　　A-Ch 再生タイムコードを出力します。

TIME CODE Out B　　B-Ch 再生タイムコードを出力します。

「USER MENU2→TIME CODE→SELECTION ON EE」メニュー設定により、停止時に入力(収録)TC を出力する様になります。

（６）422 端子



422-1 端子　　RS-422 シリアルリモート端子 1 です。
A-Ch を制御します。

422-2 端子　　RS-422 シリアルリモート端子 2 です。
B-Ch を制御します。

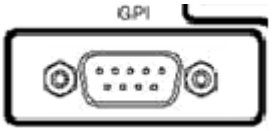
（７）イーサネット

100ＢＡＳＥ Ｔ /1000ＢＡＳＥ Ｔ コネクタです。

（８）オーディオオプション接続コネクタ

オーディオオプションボックスの CONN 番号と合わせて、付属の専用ケーブルを接続してください。

（９）ＤＩ/ＤＯ端子(※別売オプション)



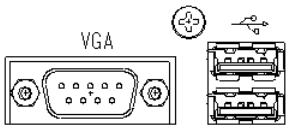
２IN / １OUT の機能を持っています。

D-Sub 9pin(オス) PIN 配列は以下の通りです。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
OUT ＋	IN1＋	N.C	IN2＋	N.C	OUT－	IN1－	IN2－	N.C

この動作は、「ADMIN MENU→SYSTEM１→ENABLE DI」同じく「ENABLE DO」で選択できます。

（１０）ＰＣ系端子



内蔵 PC を操作するための、VGA モニタと入力デバイスをこちらに接続します。(入力デバイスは USB のみ使用可)

イベントプレイヤーを使用する場合、1600x900 以上を表示できる VGA モニターが必要です。

（１１）排気口

冷却用の排気口です。ふさがないようにして下さい。

3. ハードディスクの定期交換について

一定期間でのＨＤＤの交換をお勧めします。

通電時間、放置期間、使用環境によって異なりますが、交換時期の目安は、およそ 3 年です。

その場合、記録されている素材は、全て使用できなくなります。記録されている素材が、必要なくなったタイミングで実施をご検討下さい。

交換用 HDD については、弊社で検査を実施した正規品をご購入頂きますようお願い致します。

交換のご希望の場合やご不明な点のご質問は、弊社サポートまで御連絡下さい。

4. シーンについて / コンプレスについて

１）シーンについて

VDRH では、収録から収録停止まで※を“シーン“と呼び管理します。

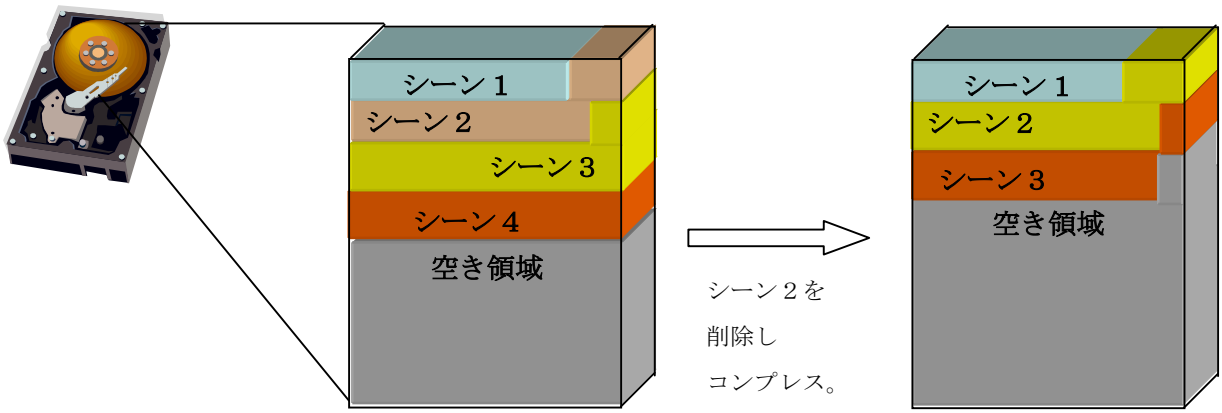
ＶＤＲＨには、１０２４シーンまで収録できます。ディスク容量に空きがあった場合でも、シーン数が１０２４を超えては収録できません。

２）コンプレスについて

コンプレスとは、<u>シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作</u>です。

ＶＤＲＨで収録を行なった場合、シーンの「管理データ」と「映像データ(付加情報含む)」とをそれぞれ別の領域に保存していきますが、その際映像データは、映像データ用の領域の先頭から前詰めで記録していきます。

その中から不要になったシーンを削除しコンプレスをかけると、必要なデータだけが前詰めに並ぶように、それ以降の映像データを全て移動させます。



シーン２の映像データが削除され、管理上のシーン番号も前詰めされる。

この時、<u>コンプレスの作業時間の目安</u>としては、移動しなければならない“シーン３”と“シーン４”の長さの合計の<u>おおよそ 80～90%</u>の時間が掛かります。ですので、シーン４だけをコンプレスする場合は、移動するデータがないため、数秒で終了することになります。

なお、コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意下さい。

コンプレスは、本体メニューかアプリケーションから行なうことが出来ます。その方法については、別冊の「VDRH-8000 本体操作説明書」もしくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご参照下さい。

5. その他の操作

VDRH-8000 本体での操作方法や、メニューの呼出方法・設定方法は、「VDRH-8000 本体操作説明書」をご覧下さい。

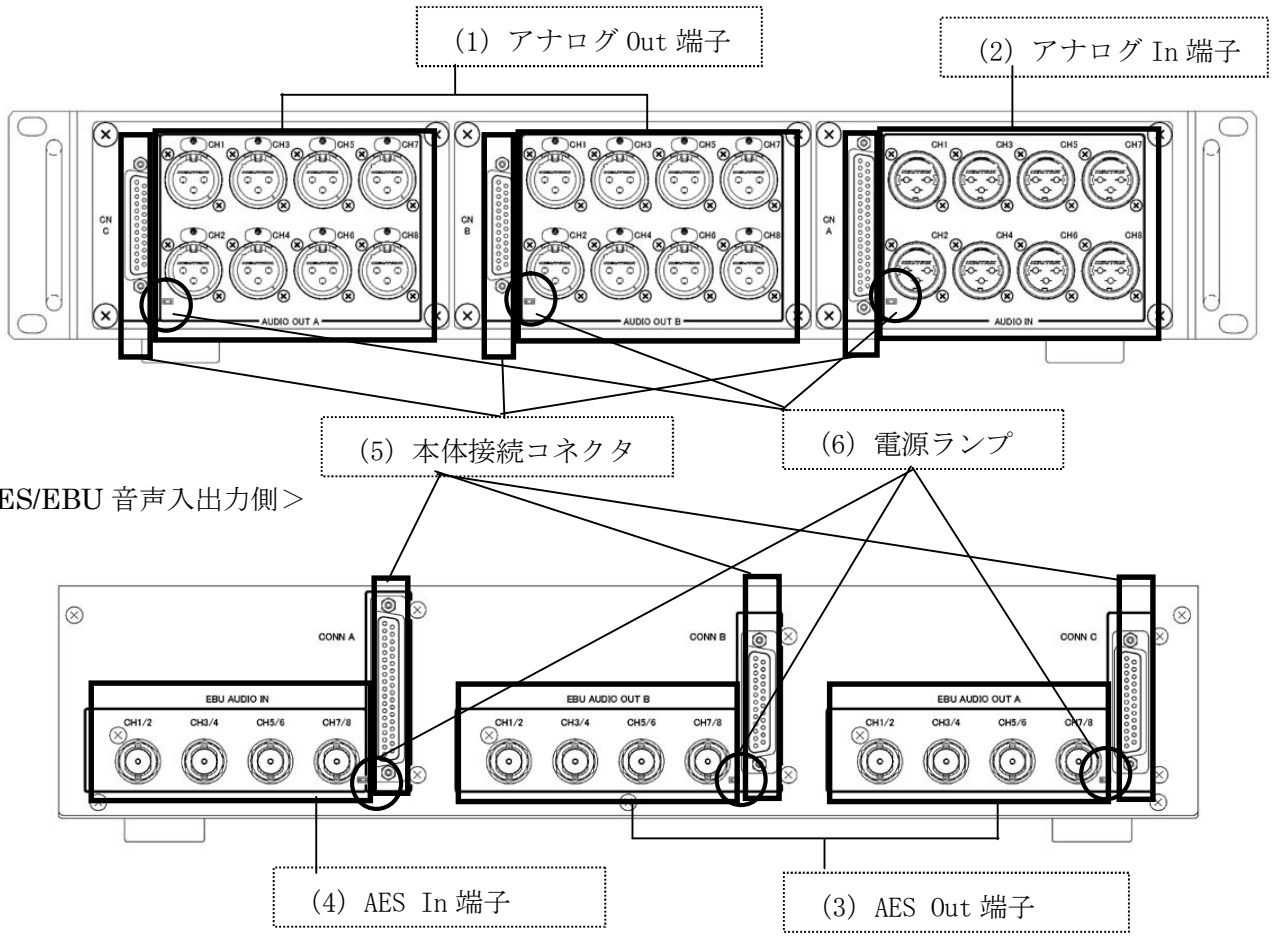
6. オーディオユニットオプション(別売)

VDRH-8000 では、別売のオーディオオプションボックスを接続する事により、アナログ音声や AES/EBU 音声の入出力を使用することが出来ます。

アナログ用パネルと AES/EBU 用パネルは表裏にあり、どちらでも前面に向けて設置できるようになっています。

1 ）パネル

＜アナログ音声入出力側＞



AUDIO　OUT 端子（XLR3Px8 x2）	Ch１～Ch8 のアナログオーディオ信号を出力します。A-Ch 用と B-Ch 用に 2 系統あります。
AUDIO IN 端子（XLR3Px8）	Ch１～Ch８のアナログオーディオ信号を入力します。
AES Out 端子（BNCx4 x2）	Ch1/2～Ch7/8 の AES/EBU 信号を出力します。A-Ch 用と B-Ch 用に 2 系統あります。
AES In 端子　（BNCx4）	Ch1/2～Ch7/8 の AES/EBU 信号を入力します。
本体接続コネクタ（Dsubx3）	本体に接続する為のコネクタです。
通電ランプ	それぞれのパネルが通電していると、LED が点灯します。

２）接続

オーディオオプションボックスを VDRH 本体に接続する場合、必ず VDRH 本体の電源を落としてから接続してください。

VDRH 本体とオーディオボックスとは、専用の Dsub ケーブルで接続します。

コネクタには、CONN A～CONN C がありますので、VDRH の背面コネクタとオーディオオプションボックスのコネクタのアルファベットが一致するように接続し、固定用のネジを締めて下さい。

接続をし終わったら、VDRH 本体の電源を入れ、オーディオオプションボックスの通電ランプが点灯していることを、確認して下さい。

7. 定格

分類	項目	仕様
記録デバイス	ハードディスク	s-ATA, 1 台 （1 TB)
	記録時間	約 12 時間
記録ビデオ信号	解像度	1920×1080/59.94i, 1920×1080/50i, 1920×1080/23.98psf, 1920×1080/24psf, 1920×1080/29.97psf, 1920×1080/25psf, 1280×720/59.94p, 1280×720/50p （23.98psf、24psf は SDI Input Lock のみに対応）
	圧縮フォーマット	JPEG2000
記録オーディオ信号	サンプリング	４８ＫＨｚ
	ビット数	２４ビット
	チャネル数	８チャネル
ビデオ入力信号	コネクタ	HD-SDI BNC
	対応規格	SMPTE292M 準拠
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠
	モニター出力	アクティブスルー出力(BNC)
	系統数	１
同期 REF 入力	コネクタ	BNC 75Ω
	信号	アナログコンポジット ブラックバースト同期
	出力	ループスルー出力(BNC)
ビデオ出力信号 (送出用)	コネクタ	HD-SDI BNC
	対応規格	SMPTE292M 準拠
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠
	系統数	２
ビデオ出力信号 (モニター用)	コネクタ	HD-SDI BNC
	対応規格	SMPTE292M 準拠
	オーディオ	埋め込み SMPTE 299M 準拠
	系統数	２
タイムコード入力	コネクタ	BNC
	信号	2Vp-p SMPTE 012M 準拠、LTC
	系統数	１
タイムコード出力	コネクタ	BNC
	信号	2Vp-p SMPTE 012M 準拠、LTC
	系統数	２
イーサネット	コネクタ	イーサネット(RJ-45) 1Gbit/sec
	通信速度	最高 1Gbit/sec
	系統数	1
	接続形式	制御・ステータス取得 (HTTP)

分類	項目	仕様
リモート入力	コネクタ	Ｄ－ｓｕｂ９ピン
	信号	ＲＳ－４２２Ａ
	コマンド	ソニー標準/VDCP 準拠、切替
	系統数	２
接点入出力 （※別売オプション）	コネクタ	Ｄ－ｓｕｂ９ピン
	定格	２入力、１出力
特殊機能	操作ログ	操作の記録と閲覧ができる
	アラームログ	アラームの記録と閲覧ができる
電源	電圧	１００V±１０％
	周波数	５０／６０Ｈｚ
	消費電力（本体）	９０W以下
	消費電力（ｵｰﾃﾞｨｵｵﾌﾟｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ含む）	１１０W以下
	２重化電源	オプション対応可（ホットスワップ非対応）
外形寸法	本体寸法	W430 x H88 x D425 (*)
	ｵｰﾃﾞｨｵｵﾌﾟｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	W430 x H88 x D205 (*)
	対応ラック	１９インチ 2U
重量	本体	１５Ｋｇ以下
動作環境	温度	５℃から４０℃
	湿度	１０％から８０％
*取手やコネクタなどの突起部は除く。		

この仕様は告知なく変更される場合があります。予め御了承ください。

メモ：

サービスに関するお問い合わせは

株式会社　オンテック

ビデオコミュニケーションビジネスユニット

TEL：０３－５２５６－２０６１

FAX：０３－５２５６－２０６５

〒１０１－００４１

東京都千代田区神田須田町２丁目８番２号　プライム神田ビル　１０Ｆ

※本書に記載されている内容を実行したことにより発生したいかなる損害に対しても、弊社は責を負いかねます。

何らかの不都合により、正常に録画・再生ができなかった場合の補償、録画・編集した内容（データ）の消失、及び直接間接の損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

※本書の内容は改定のため予告なく変更されることがありますので予めご了承下さい。